

業務用バキュームクリーナー グリーンマイスター

EP 1 1 1 5
EP 2 1 2 2 - 3 5
EP 2 1 2 2
EP 2 1 5 5 ECO
EP 2 1 7 5

取扱説明書

OPERATION MANUAL



この度は、日本クランツレ株式会社の製品をお買い求め頂き、誠に有難うございます。
業務用バキュームクリーナー（以下本製品）の使用準備、使用、保守点検の前に、必ず取扱説明書（以下本書）を熟読し、正しくご使用下さい。
また、本書を熟読された後は、作業の方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

**本製品の使用方法を誤ると、人的、物的被害が起こる可能性があります。
本書に記載されている注意事項はいずれも重要な内容ですので必ず守ってください。**

 **危険**

この表示内容を守らなかった場合、爆発など重大な事故の原因になり、人が死亡または重傷などの重大な結果に結び付く可能性があります。

 **警告**

この表示内容を守らなかった場合、人が死亡または重傷などの重大な結果に結び付く可能性があります。

 **注意**

この表示内容を守らなかった場合、人が軽傷を負う可能性があり、また本製品の故障や物的損害が発生する可能性があります。「注意」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。

0、目次

1. 安全上のご注意	4ページ
2. 仕様と各部名称	5～6ページ
3. 使用前の準備	7～10ページ
4. 作業の開始と終了	11ページ
5. メンテナンス	12～14ページ
6. ロンゴパックについて	15ページ
7. 保管方法	16ページ
8. アフターサービス	16ページ
9. 保証	16ページ
10. トラブルシューティング	17ページ

1、安全上のご注意

● 取扱い全般について

 危険	<ul style="list-style-type: none">● 本製品の取扱説明書、および注意事項を熟知しない人は運転および操作をしないで下さい。● 作業開始前の点検や定期自主検査を必ず実施してください。● 本製品を、子供や十分な判断能力を有していない者に絶対に触らせないで下さい。● 本製品を本来の目的（清掃や集塵、回収）以外では使用しないで下さい。● 危険物や可燃性の物質がある場所で本製品を使用しないで下さい。● 可燃性や爆発性の液体（ベンジン、ガソリン、シンナー、溶剤など）を本製品に吸引しないで下さい。● 可燃性や爆発性の粉体（マグネシウム・アルミニウムなど）を本製品に吸引しないで下さい。● 高温の物質（燃えさし、焼却灰、燃えカス）を本製品に吸引しないで下さい。● 本製品を純正部品以外で修理または改造を行わないで下さい。● 火災や爆発の恐れがある危険物貯蔵所などで本体を据え付けて使用をしないでください。● 配電盤には漏電遮断機を電路に取り付けアース工事を行ってください。● 本製品のハンドル部分にフックなどを引っかけて吊り上げないで下さい。● 本製品を他人に向けて使用しないで下さい。特に目や耳に向けないで下さい。失明や難聴になる可能性があります。● 濡れた手や手袋でプラグや電源接続部を触ると感電するので触らないでください。● 人体に有害な物質（アスベスト、カドミウム・シアン・鉛・六価クロム等）を本製品に吸引しないで下さい。なお作業に使用した本製品の修理はお受け出来ません。● 人体に有害な物質を掃除するときは、防護眼鏡や防じんマスクをしてください。
 警告	<ul style="list-style-type: none">● 吸引、回収した物質の廃棄方法は地域の法令や規制を遵守し適切に処置して下さい。● 掃除機を使用しないときは、電源プラグを抜いてください。● フィルターを付けずに本製品を運転しないでください。● 本製品を屋外や雨などの水がかかる場所で使用しないで下さい。● 損傷した電源ケーブルのまま本製品を使用しないで下さい。● 本製品の使用、保管は水平な場所に置き、車輪に付いているブレーキを掛けて下さい。● 吸引ホースやフィルターを損傷させる可能性がある鋭利なものは吸引しないで下さい。● 掃除機が異常音や異常振動するときは、ただちに運転を中止して保守点検をしてください。● 定格電圧以外で使用しないでください。● 本製品を使用する際に延長ケーブルはできるだけ使用しないで下さい。やむを得ず使用する場合は電圧降下が起こらないよう適正な太さのケーブルを使用して下さい。● 有毒なゴミの中での作業は作業服、眼鏡、マスク等は汚染されていますので、消毒や各々の作業に見合った処置を完璧に行ってください。● ボックスカバー（蓋）やダストタンクが正確に取り付けられているか確認してください。● 保守点検、修理を実施する前に電源を遮断してください。● 保守点検、修理は事業者が定めた専門知識のある人が行ってください。● 保守点検、修理をするときは、防護眼鏡や防じんマスクや防護服を着用してください。● 保守点検で異常な箇所があるときは、そのまま使用せずただちに補修してください。● モーターカバーをはずして点検修理が必要なときは当社にご連絡ください。● 保守点検、修理を実施するときは、「点検中」や「通電禁止」などを示す表示をしてください。
 注意	<ul style="list-style-type: none">● 本製品の部品は日本クランツレ取扱店及び当社営業所までご用命下さい。● 環境条件が高温（40℃を越える）低温（0℃以下になる）高湿（65%を越える）の場所、また酸や塩分の多い場所や薬品の影響を受ける場所など、特殊な環境で使用する場合は必ず当社営業所にご相談ください。お客様の掃除作業に合った作業方法を提案いたします。● 液体状のものを吸引するときはオプションパーツが必要ですので当社営業所までご連絡ください。

2、仕様と各部名称

● 製品仕様

機種名	EP1115		EP2122-35		EP2122		EP2155-ECO		EP2175	
										
周波数 (Hz)	50Hz	60Hz	50Hz	60Hz	50Hz	60Hz	50Hz	60Hz	50Hz	60Hz
供給電圧	三相 200V		三相 200V		三相 200V		三相 200V		三相 200V	
供給電力	1.6 kw	2.05 kw	2.2 kw	2.55 kw	2.2 kw	2.55 kw	5.5 kw	6.3 kw	7.5 kw	8.6 kw
最大静圧	20 kPa	22 kPa	20 kPa	20 kPa	20 kPa	20 kPa	23 kPa	21 kPa	32 kPa	35 kPa
最大風量	3.35 m ³ /分	4.15 m ³ /分	5.18 m ³ /分	6.16 m ³ /分	5.18 m ³ /分	6.16 m ³ /分	8.3 m ³ /分	10 m ³ /分	9.3 m ³ /分	10.6 m ³ /分
騒音レベル	63 dB(A)		74 dB(A)		74 dB(A)		74 dB(A)		78 dB(A)	
メインフィルター 表面積	1.75 m ²		1.75 m ²		2.2 m ²		3.2 m ²		3.2 m ²	
本体吸引口	Φ80mm		Φ80mm		Φ80mm		Φ80mm		Φ80mm	
ダストタンク容量	35 L		35 L		60 L		60 L		100 L	
電源ケーブル	8 m		8 m		8 m		8 m		8 m	
本体寸法 (幅×奥行×高さ)	580×1190×1260mm		580×1190×1260mm		680×1230×1350mm		680×1230×1350mm		680×1230×1560mm	
本体重量	105 kg		105 kg		110 kg		160 kg		210 kg	
ダストクラスM	標準装備		標準装備		標準装備		標準装備		標準装備	
ダストクラスH	オプション		オプション		オプション		オプション		オプション	
B1対応	標準装備		標準装備		標準装備		標準装備		標準装備	
IP等級	IP55		IP55		IP55		IP55		IP55	
標準付属品	<ul style="list-style-type: none"> スーパーフレックスホース Φ40×3.5m ・PPクレビスノズル ・PTFEフィルター 		<ul style="list-style-type: none"> ・スーパーフレックスホース Φ50×3.5m ・PPクレビスノズル ・PTFEフィルター 		<ul style="list-style-type: none"> スーパーフレックスホース Φ50×3.5m ・PPクレビスノズル ・PTFEフィルター 		<ul style="list-style-type: none"> スーパーフレックスホース Φ50×3.5m ・PPクレビスノズル ・PTFEフィルター 		<ul style="list-style-type: none"> スーパーフレックスホース Φ50×3.5m ・PPクレビスノズル ・PTFEフィルター 	

● 各部の名称

※写真はEP2155ECOになります。



1	リリーフバルブ (安全弁)
2	タンク固定用レバー
3	サクションホース差込口
4	フィルターシェイカーハンドル
5	ダストタンク
6	排気口
7	メインスイッチ
8	負圧計
9	車輪ブレーキ
10	PTFEフィルター

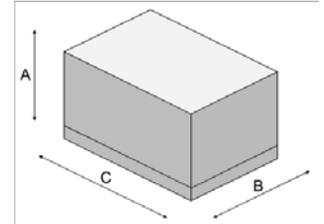
3、使用前の準備

● 製品の開梱方法

 警告	● 本製品は非常に重量があります。事故など起こらないよう慎重に作業して下さい。
 注意	● 作業を行う時は、人体を守るために保護手袋やゴーグルなどをつけて作業を行って下さい。

- 本機の梱包サイズは下記の表の通りです。
- 梱包材は各地域の法令や規則を遵守し適切に処理して下さい。

商品名	A	B	C	総重量
EP	mm	mm	mm	kg



● 開梱方法

- ① ダンボールなどの外装を外します。
- ② スロープなどを使いパレットの段差をなくし機械を後方から下ろします。
- ③ 輸送用にパレットは保管して置いて下さい。
(修理する際に必要な場合があります。)

● 製品と付属品の確認

- 製品が到着したら、外箱や本体に輸送中のダメージがないかご確認ください。
次にご注文通りに製品が届いたかご確認ください。
本体に欠品や損傷等がある場合は日本クランツレ株式会社までご連絡して下さい。
また1ヵ月以内に確認しなかった場合の返品、保証致しません。

機種名	EP1115	EP2122-35	EP2122	EP2155	EP2175
メインフィルター	1個	1個	1個	1個	1個
サククションホース	スーパーフレックスホース Φ40×3.5m 1本	スーパーフレックスホース Φ50×3.5m 1本	スーパーフレックスホース Φ50×3.5m 1本	スーパーフレックスホース Φ50×3.5m 1本	スーパーフレックスホース Φ50×3.5m 1本
クレビスノズル	1本	1本	1本	1本	1本
ダストタンク	35L	35L	60L	60L	100L
ダスト廃棄用袋	1枚	1枚	1枚	1枚	1枚
取扱説明書(本書)	1冊	1冊	1冊	1冊	1冊
ユーザー登録用紙	1枚	1枚	1枚	1枚	1枚

● 銘板の説明

- 本機はさまざまなダストクラスの吸引が可能です。銘板記載の1～7番をご確認ください。
- 銘板の参考例です。お客様の電圧・電力が合っているか確認してください。
その他重要なデータを照会しています。

機種：	EP1115	1	要所：	
ゴミの種類：	H/B1	2	1＝	機種
定格電圧：	200Volts	3	2＝	ゴミの分類
定格電力：	1.6kw	4	3＝	定格電圧
位相数：	3相	5	4＝	定格電力
周波数：	50/60Hz.	6	5＝	位相数 (≒3相)
IP等級：	IP55	7	6＝	周波数
製造業者名：	Blankenburg GmbH D-53424 Remagen Tel:+0049(2642)93730	8	7＝	I P 等級
製造番号：	070000001	9	8＝	製造業者名
			9＝	製造番号

- お客様サービスに問合せする際、上記の情報が必ず必要となります。
機種と製造番号を独自に識別することで誤った情報を提供する恐れを回避します。

● 注意書きと情報プレート

- 情報プレートは、本製品に取り付けられておりそれらを遵守することは義務とします。
また劣化など読みにくくなったプレートは新しいものに必ず交換してください。

● 情報プレートの説明

- この電気掃除機で吸い上げる物質はネームプレートから適切と思われるもののみとしてください。
不正な使用または誤用した場合、保証は無効とします。

● 本製品の設置



注意

● 本製品は必ず水平で十分な荷重負担能力がある場所に設置して下さい。

● 特殊な場所の設置には、当社営業所にご相談ください。

● 電力供給源への接続



注意

● 電力供給源の電圧、周波数が銘板の情報と一致しているか確認して下さい。

● 配電盤には漏電ブレーカーを取り付け必ずアースを取って下さい。

● プラグに差し込むソケットのプラグは防水型を使用してください。

● 湿った場所、濡れた所にコードを引かないでください。

下の表に載っているうちのどれか一つのみ交換できます。また表には関連するヒューズの必要条件も載っています。

型	ケーブル	ヒューズ
EP1115 EP2122-35 EP2122	H07 RN -F 4G × 1.5mm ²	16A
EP2155	H07 RN -F 5G4 × 2.5mm ²	30A
EP2175	H07 RN -F 5G6 × 5.5mm ²	35A

● 延長ケーブルに使用について



注意

● 延長ケーブルの使用による故障は保証出来ません。

● 電源ケーブルの延長は出来る限り行わないで下さい。

● 細すぎる延長ケーブルは使用しないで下さい。火災の原因になります。

● 配電盤から本製品までのケーブル及びコンセントなどの抵抗値が大きいと本製品に送られる電気の電圧が大きく低下し、本製品が正常に動作しなかったり、電気部品の加熱焼損につながります。

● 延長ケーブルを使用する場合は、ケーブルの長さとおさを下記の表を参考に計算によって選定して下さい。

● 電圧降下の値の求め方 (三相 200V)

$$\text{電圧降下の値 (V)} = 30.8 \times (8 + L) \times I \div Z \div 1000$$

L = 延長ケーブルの長さ (m) I = 消費電流値 (A) Z = 延長ケーブルの断面積 (mm²)

※ 電圧降下の値が 4V を超えないようにケーブルを選定して下さい。

■ 消費電流値

型式	EP1115	EP2122-35	EP2122	EP2155	EP2175
電流値	7A	10A	10A	22A	33A

■ 延長ケーブルの目安表

型式 \ 断面積	1.6mm ²	2.2mm ²	3.5mm ²	5.5mm ²
EP1115	21m	32m	57m	94m
EP2122-35	13m	21m	37m	63m
EP2122	13m	21m	37m	63m
EP2155	—	—	13m	25m
EP2175	—	—	6m	14m

※ 上記目安表はあくまでも理論値です。

● 防爆基準「B 1」について



- 本製品の純正アクセサリ及びオプションパーツのみ使用してください。純正以外のアクセサリの使用は爆発の危険性を高める結果に繋がります。
- 本製品は静電気を散らすように設計されています。サクシオンホースとアクセサリ類は純正の帯電防止品のみ使用してください。
- ダストタンクは使用后、常に空にしてください。
- 本製品を作動させるときはすべてのフィルターが正しく装着されていることを確認して下さい。またフィルターの損傷がないか確認して下さい。損傷したフィルターはゴミの流出をもたらし、粉塵爆発の危険性を引き起こします。

- B 1 基準とはドイツで運用されている防爆基準の1つです。B 1 基準に適合した工業用真空掃除機は、粉塵爆発などの可能性が低いエリア (Zone 2 2) で可燃性の物質の吸引、回収を出来る限り安全に行うために設計されています。しかし、B 1 基準は発火点が低い物質、高温の物質、燃焼している物質など少ない点火エネルギーで爆発する危険性がある物質の吸引、回収は出来ません。



● ダストクラスについて

- ダストクラスとは作業者を化学物質から守るために E N (欧州統一規格) 基準で定められた職場暴露限界 (W E L) に対するガイドラインです。
- ダストクラス L : 低い危険性のダスト (基準 E N 6 0 3 3 5 - 2 - 6 9)
W E L が $1 \text{ mg} / \text{m}^3$ より大きく、乾燥している不燃性で毒性がない物資を吸引することが出来ます。
- ダストクラス M : 中程度の危険性のダスト (基準 E N 6 0 3 3 5 - 2 - 6 9)
W E L が $0.1 \text{ mg} / \text{m}^3$ より大きく、乾燥している不燃性で有害な物資を吸引することが出来ます。
- ダストクラス H : 高い危険性のダスト (基準 E N 6 0 3 3 5 - 2 - 6 9)
W E L に関係なく乾燥している不燃性で有害な物資で癌の原因になる物質を吸引することが出来ます。



4、作業の開始と終了

● 開始手順



注意

- 本製品での作業は本書を習熟した人のみで行って下さい。
- 本製品を使用する前には安全のために必ず点検を行って下さい。

- 本製品は逆相防止の安全装置が付いています。
メインスイッチをONにしても起動しない場合はケーブルの配線を入れ替えて下さい。
- ① 本製品を作業場所まで移動させて下さい。
- ② 本製品の車輪についているブレーキをかけて下さい。
- ③ サクションホースやノズル類を本体に取り付けて下さい。
- ④ 電源ケーブルをコンセントに接続して下さい。
- ⑤ 周囲の安全を確認し、ホースの先端またはノズルを持って下さい。
- ⑥ メインスイッチをONにして下さい。
- ⑦ 周囲の安全を確認しながら作業を開始して下さい。
- メインスイッチをOFFにする前にサクションホース内が空になっていることを確認して下さい。
ホース内に吸引物が残っていると吸引物が漏れる恐れがあります。

● 終了手順



注意

- タンク用ダスト廃棄用袋は掃除機によって集められたゴミを埃が残らないよう廃棄するために使用してください。
- ゴミの廃棄物処理・有害廃棄物処理は法的規則を受けますので地方自治体か専門処理業者にご相談ください。また、当社営業所までご連絡ください。

- ① 本製品のメインスイッチをONにして空運転させて下さい。
 - ② サクションホース内に堆積したゴミの吸引が完了したら本製品の電源を切って下さい。
 - ③ サクションホースを取り外し、差込口用のキャップでサクションホース差込口を塞いで下さい。
 - ④ メインフィルターのチリ落としハンドルを数回前後に動かしメインフィルターに付着したゴミを落として下さい。
 - ⑤ タンク内で舞ってしまったゴミが落ち着くまで約1分ほど待機して下さい。
 - ⑥ ゆっくりタンクの固定レバーを下におろして下さい。
 - ⑦ フィルターの残ったゴミの流出を防ぐためにもう一度メインスイッチをONにして下さい。
 - ⑧ ダストタンクを手前に引きだして下さい。
 - ⑨ ダスト廃棄用袋を紐か何かで閉じてから取り出して下さい。
 - ⑩ ダストタンクに新しいダスト廃棄用袋を取り付け、端を外側へ折り返して下さい。
- ※ 作業を始める前に、ダスト廃棄用袋を必ず設置して下さい。
また、紐はゴミを廃棄する前に袋を閉じられるよう安全な場所で保管して下さい。

5、メンテナンス

● 交換する前に

こちらを確認してください。

- すべてのパッキン、シール部品に漏れがないか。
- すべての安全装置が正常に機能しているか。
- ダストタンクが空であるか。
- メインフィルターが正常運転しているか。
負圧系の針が赤い区域を指していたらメインフィルターを清掃するかサククションホースを確認してください。

● 稼働200時間ごとにまたは毎月

こちらを確認してください。

- すべてのパッキン、シール部品に漏れがないか。
- サククションホースやノズルに破れや割れがないか。
- 電力ケーブルに損傷はないが、ねじれていたりつぶれていないか。
- メインフィルターに裂傷や穴が開いていないか。
フィルターに損傷がある場合は交換してください。
- 本製品の伝導部分が完璧な状態でアースされているか。

● 稼働2000時間ごとにまたは毎年

- メーカーでの本製品の性能検査および定期メンテナンスを受けてください。

● メインフィルター（PTFE）の清掃について



- 一度に大量の微粉塵を吸引する場合、作業の途中で一旦中止し、メインフィルターを掃除する必要があります。
- 最大の吸引力を長期間保つには定期的にメインフィルターの状態をチェックする必要があります。
- フィルターを掃除しても負圧計の針が赤の区域から動かない場合はサククションホースやノズルが詰まっている可能性があります。

負圧計の針が右方向（緑の区域）にあるときフィルターは良好な状態です。
一方、左方向（赤の区域）に動いたらメインフィルターかサククションホース、ノズル類などの詰まりが原因です。

メインフィルターに損傷や掃除では除去できないような大量のゴミの付着が見受けられたときは、メインフィルターを交換してください。
また、約1000時間以上の稼働や約1年以上経過しているものについてもメインフィルターの交換を推奨します。
理由として、シェイカーや清掃では除去できない微粉塵がフィルターに蓄積し、フィルター本来の性能が発揮できず本製品の故障の原因になる可能性があります。

●メインフィルター（PTFE）の交換手順



注意

- メインフィルターの交換や修理を行うときは、危険を少なくするためにまたゴミの種類に応じて適切な保護服を着用してください。
(つなぎ服、防護ゴーグル、ダストマスク、防護手袋等)
- フィルターの交換は重要な項目です。新しく交換するフィルターは同一の特性を持ち同じサイズ、種類のものでなければなりません。

- ① 本製品のメインスイッチをONにして空運転させて下さい。
- ② サクションホース内に堆積したゴミの吸引が完了したら本製品の電源を切って下さい。
- ③ サクションホースを取り外し、差込口用のキャップでサクションホース差込口を塞いで下さい。
- ④ メインフィルターのチリ落としハンドルを数回前後に動かしメインフィルターに付着したゴミを落として下さい。
- ⑤ タンク内で舞ってしまったゴミが落ち着くまで約1分ほど待機して下さい。
- ⑥ モーター部に繋がっているホースを外しフタを固定している締付リングを外し、フタを取り外します。
- ⑦ フィルターケースを取り外します。
- ⑧ メインフィルターをゆっくり持ち上げて取り外します。
- ⑨ 取り外したフィルターは廃棄用のビニール袋に入れて適切に廃棄して下さい。
- ⑩ 新しいメインフィルターを本体内に入れます。
- ⑪ アジテーターバットに入っていること確認しながらフィルターゲージを取り付けます。
- ⑫ フィルターシェイカーレバーを前後に動かしてきちんとフィルターが装着されているか確認します。
- ⑬ フタを取り付け締付リングで固定します。
- ⑭ 取り外したホース類を元に戻して下さい。



メインフィルター

アジテーターバット

PTFEフィルター用部品番号

機種	部品番号
EP1115/EP2122-35	Y054-20115 (1.75㎡)
EP2122	Y054-20116 (2.2㎡)
EP2155/EP2175	Y054-20117 (3.2㎡)

● アブソリュートフィルター（HEPAフィルター）の交換方法

⚠ 注意

- メインフィルターの交換や修理を行うときは、危険を少なくするためにまたゴミの種類に応じて適切な保護服を着用してください。
(つなぎ服、防護ゴーグル、ダストマスク、防護手袋等)
- フィルターの交換は重要な項目です。新しく交換するフィルターは同一の特性を持ち同じサイズ、種類のものでなければなりません。

- ① モーター部に繋がっているホースを外しフタを固定している締付リングを外し、フタを取り外します。
- ② アブソリュートフィルターからガイドパイプを取り除いて下さい。
- ③ アブソリュートフィルターをゆっくり取り外します。
- ④ 取り外したフィルターは廃棄用のビニール袋に入れて適切に廃棄して下さい。
- ⑤ 新しいアブソリュートフィルターを取り付けガイドパイプも取り付けて下さい。
- ⑥ フタを取り付け締付リングで固定します。
- ⑦ 取り外したホース類を元に戻して下さい。



アブソリュートフィルター

ガイドパイプ

アブソリュートフィルター用部品番号

機種	部品番号
EP1115／EP2122-35	054-20018 (1.7㎡)
EP2122	054-20027 (2.0㎡)
EP2155／EP2175	054-20033 (4.3㎡)

ダスト廃棄システム「ロンゴパック」について



ダスト廃棄システム「ロンゴパック」の取付交換方法

交換部品:ロンゴパックダストパック 20m×4本(部品番号Y235-1000)

集塵機への電力供給を止めてください。

81. 新しいロンゴパックの付いたガイド(No. 82)を排出口(No. 81)に取り付けます。
82. ガイド(No. 82)取り付け後、固定用のボルト(No. 83)を取り付けます。
83. 袋の下をタイラップで縛ります(No. 84)。
84. ロンゴパックの上をクランピングリング(No. 85)使って固定します。



危険

●本ロンゴパックの交換は、必ず集塵機への電力供給を止めた状態を確認して行ってください。

●この作業は、吸引物により必要な防護用具(マスク、手袋)を装備し行うようにしてください。

6、保管方法

- 本機は乾燥した屋内で保管してください。

7、アフターサービス

本製品は、日本国内で弊社公認の技術スタッフにより出荷前の試験運転が行われています。

しかし長い期間作業をすると、様々な箇所で消耗や劣化などが起きてきます。

未永くご使用頂いてもらうためにも定期的なメンテナンスは不可欠です。

交換部品は必ず純正部品を使用してください。

純正部品以外を使用したときは、すべての保証・賠償請求は無効になります。

アフターサービスをご依頼の際は、当社営業所、または販売店までご連絡ください。

当社製品の修理・サービスは、訓練を受けた技術者が行ってください。

不適切な修理をすると、使用者に多大な危険を及ぼす原因となります。

8、保証

本製品を使用する際にあらかじめ本製品の取扱説明書を熟読して頂き、記載されている注意書きを熟知し、取扱方法も習熟された上で正しく使用したにもかかわらず、本製品をお届けした時点での品質上の問題に起因して、破損または故障が生じた場合に製品の無償交換を保証するものです。本製品の破損または故障が原因で発生した生産ダウン・人身事故・物損などの二次的損害など本製品以外の損害について補償をお約束するものではありません。本製品が使用出来ない場合に生産ダウンなど多大な損害が見込まれるような場合は、あらかじめ予備機などの準備をお願い致します。

保証に関する要求は、ご購入された販売店までお問い合わせ下さい。状況を確認の上、適切な対応を致します。

○ 保証できない事項

- 以下の事柄は保証の対象外となります。

- 1、Oリングやパッキンなど消耗部品や磨耗部品。
- 2、純正部品以外での修理または改造が原因で発生した事故、不具合。
- 3、吸引した物質によって発生したすべての損害。
- 4、本製品の保証に直接的、間接的を問わず発生した輸送コストとリスク。
- 5、偶発的な事故や誤った使用方法、本体の放置により生じた損傷や不具合、または間接的な損害。
- 6、経年変化、突然の衝撃、吸引した物質の影響、製造不良等で発生した人体や周辺設備などへの影響などの二次的損失。

9、トラブルシューティング

モーターが作動しない

- スイッチ、供給ケーブル、連結装置またはヒューズに欠陥がある。
＜解決策＞資格のある電気技師に欠陥部品を点検してもらい必要であれば交換してください。
- 電圧供給と機種表示の電圧が合っていない。
＜解決策＞機種表示に合った電圧に変更する。

吸引力の不足

- フィルターまたはホースが詰まっている。
＜解決策＞フィルターまたはホースを掃除してください。
- ダストタンクが満杯。
＜解決策＞取扱説明書に従い、ダストタンクを空にしてください。
- ダストタンクが密閉されていない。
＜解決策＞設置して漏れがある箇所を修復してください。
- フィルター内に過度のゴミがある。
＜解決策＞フィルターを掃除してください。

ゴミが吹き出る

- ただちに掃除機の電源を切ってください。
- フィルターに欠陥がある。
＜解決策＞点検のうえフィルターを交換してください。
- フィルターが汚れている。
＜解決策＞フィルターを点検のうえ適した性質のものと交換してください。

掃除機上の静電圧

- 接地が正しくない。
＜解決策＞点検のうえ接地を修復する。

日本クランツレ株式会社

本 社	〒578-0943	大阪府東大阪市若江南町5丁目3番44号	TEL:06-6725-8818	FAX:06-6725-8828
サービスセンター	〒578-0943	大阪府東大阪市若江南町5丁目3番44号	TEL:06-6725-8818	FAX:06-6725-8828
北海道営業所	〒061-1434	北海道恵庭市柏陽町3丁目17番12号	TEL:0123-25-6516	FAX:0123-25-6517
関東営業所	〒350-1304	埼玉県狭山市狭山台2丁目29番4号	TEL:04-2935-4817	FAX:04-2935-4837
中部営業所	〒497-0053	愛知県海部郡蟹江町平安1丁目79番	TEL:0567-69-6986	FAX:0567-69-6987
大阪営業所	〒578-0943	大阪府東大阪市若江南町5丁目3番44号	TEL:06-6725-8818	FAX:06-6725-8828
九州営業所	〒802-0804	福岡県北九州市小倉南区下城野2丁目5番11号	TEL:093-280-1939	FAX:093-280-6713